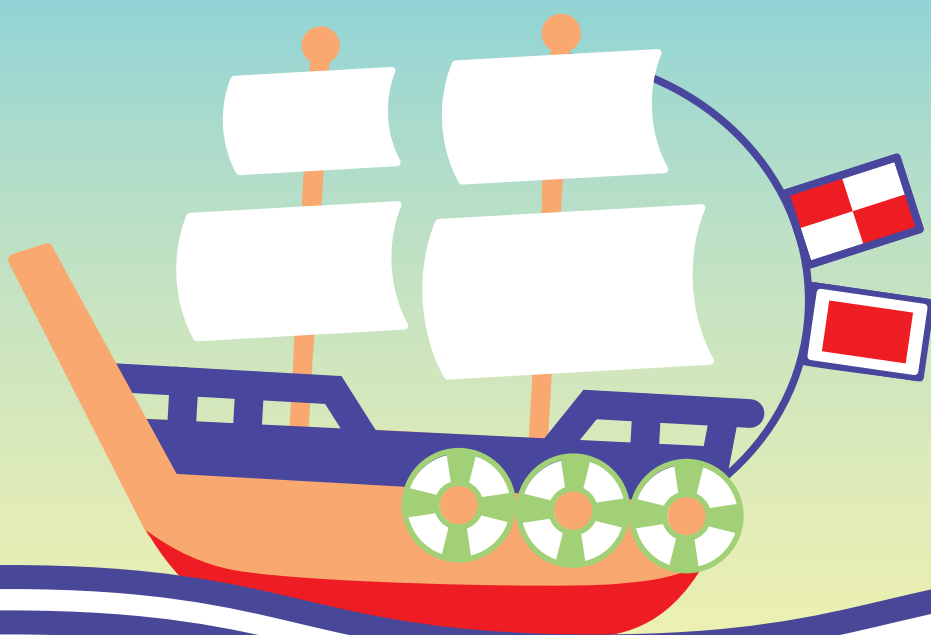


みおさらい

中央区立晴海図書館 館報
創刊号 2025 年 1 月 1 日発行



特集

晴海図書館 開館しました 2

各フロアのご案内

児童エリア 3

一般エリア 4

Teens&Youth エリア 5

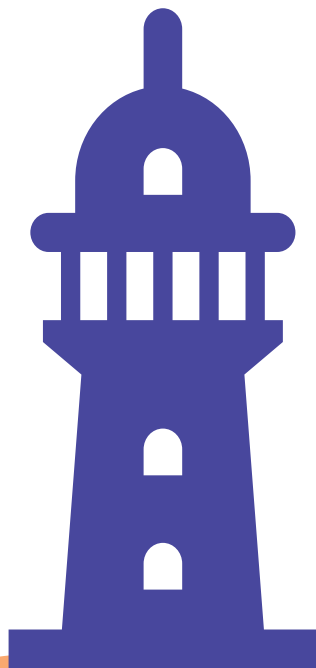
はるめーる 晴海や図書館のことを紹介します 6

晴海図書館 開館しました

晴海図書館へようこそ。
東京都中央区の4番目の図書館として、
2024（令和6）年7月にオープンしました。
新しい街の新しい図書館です。
いままで図書館を身近に感じていなかった人
にもぜひ来ていただきたいです。

図書館には心の栄養となる物語や生活を助ける知恵、知りたいことのヒント、そして未知の世界との出会いがあります。
迷い、悩んでいるときにも、道しるべがみつかるかもしれません。

どなたにも図書館という知識の海は、ひらかれています。私たちは、その航海を楽しんでいただけるように、お手伝いいたします。



児童エリア



3階

心地よい日の光が差し込む3階の児童エリアには、現在2万冊以上の児童書があります。親子でゆったりと絵本を読む「はだしスペース」のほか、日本を含め世界中の物語を集めた棚、そして興味を持ったこと・不思議に思ったことを調べる知識の本の棚が並んでいます。ベビーカーを置くスペースやおむつ台と調乳用の給湯器を備えた授乳室もありますので、乳幼児を育てている方も安心して気軽に図書館を使えます。



物語の棚には、読み継がれてきた名作や子どもたちに人気の本が並んでいます。本を読むことが困難な子どものために点字絵本や大活字本などをそろえた、「りんごのたな」も用意しています。



道端に咲いていた花の名前はなんだろう、本で読んだ国はどこにあるのだろう……そんな疑問を持ったら、理科や地理などの本が置いてある棚へ。学校の勉強や調べ物で使う資料も取りそろえています。

開館記念事業報告

絵本作家はらしまみさんおはなし会&講演会

講師：はらしまみさん
場所：3階おはなしのへや
3階会議室

2024年7月27日実施



作家ご本人が作品の読みきかせをしてくださいました。キャラクターのぬいぐるみが登場するなど作品の世界をたっぷり楽しむことができました。講演会では、絵本作家としてデビューするまでの道のりや絵本が出来るまでの工程をお話いただきました。1冊の絵本が完成するまでに、とてもたくさんの時間と努力と愛情が詰まっていることを知ることができました。

絵本作家きむらだいすけさんのアートワークショップ

講師：きむらだいすけさん
場所：3階会議室

2024年8月24日実施



自由にちぎった紙を、きむらだいすけさんが絵にしてください、素敵な作品が出来上がりました。参加者の方々の喜ばれるご様子に、晴海図書館スタッフも嬉しくなりました。ご家族での参加も多く、「とても有意義な時間だった」と、好評でした。3階の児童カウンター棚には、作品が飾ってあります。ぜひご覧ください。

一般エリア



マネジメントや経営を勉強したい、お菓子作りにチャレンジしたい、外国の文化や言葉を学びたい、など仕事やプライベートに役立つ本をお探しの方は3階一般エリアにお越しください。幅広い年代の方に向けた一般書を取りそろえています。文学作品は広い壁のような棚にまとまってあり、一面に並んだ本の背表紙は壮観です。地域資料としては、晴海にゆかりのある東京2020大会や万国博覧会に関するものがあります。作家やジャンルなどに焦点を当てたミニ展示も頻繁に実施しています。



エレベーターホールから一般エリアに入ると、特集展示のスペースです。時節にまつわることや、図書館員こだわりのテーマで集めた本を展示しています。目に留まった資料を手にとると新たな世界が広がるかもしれません。



東京2020大会選手村ビレッジプラザで使用されていた木材が、窓を飾るX字型の木枠の一部に再利用されています。また階段付近に選手と大会関係者が平和への祈りを込めた休戦ムラールが設置されています。

大沢在昌講演会「ミステリーと私」

講師：大沢在昌さん
場所：2階会議室

2024年8月18日実施



直木賞作家でハードボイルド作家の大沢在昌さんにお越しいただき、「ミステリーと私」をテーマに半生を振り返る講演会・サイン会を開催いたしました。作家のことをよく知ること、作品をより味わい深く楽しむことができるかもしれませんね。大沢在昌さんの著書は晴海図書館にも所蔵しています。ぜひご覧ください。

Teens & Youthエリア

4階

Teens & Youth(ティーンズ・アンド・ユース)とは、晴海図書館が10代から20代の方を表すためにつくった言葉です。4階全体は、特にこの年代に合わせた図書とサービスを展開しています。ポップでお洒落な手に取りやすい資料を取りそろえています。グループで使う席や部屋では、友達と相談しながら勉強したり、親が仕事をしている隣で子どもが読書をしたり、発表の練習やグループディスカッションをしたりする姿も見られます。



個性的な机や椅子がある利用者交流室は、飲食可能スペースです。仕事や調べものの合間に一息いれたり、一緒に勉強をしに来た友達とお昼ご飯を食べたりと自由に使えます。



小説や授業、受験で使う本ばかりでなく、自分の生き方を考えたり、これからの進路や就職の参考になる本も充実しています。魅力的な表紙デザインは棚を見ながら歩くだけでも楽しめます。

ネットと生成AIの時代に、なぜ読書？ 図書館???

講師：梅澤貴典さん
場所：3階会議室

2024年8月4日実施



「スマホ1つで何でも調べられる」時代に、その情報がどこまで信用できるのか、『ネット情報におぼれない学び方』の著者である梅澤貴典さんによる講演会をおこないました。正しい情報の判断の仕方や生成AIの活用法、さらに図書館の有効な利用方法などをお話ししてもらいました。参加者は熱心に聴き質問されていて、ネット情報に対する関心の高さが感じられました。

はるめーる

晴海や図書館のことを紹介します



地名の由来 「晴海」

今から 94 年前の 1931 (昭和 6) 年、埋め立てによって「月島四号地」が完成しました。これが「晴海」の始まりで、昭和 12 年 7 月に晴海町一丁目から六丁目が誕生。町名は当時の区議会 (京橋区) で「いつも晴れた海を望む」という希望から決定され、昭和 40 年の住居表示実施により晴海となりました。佃や月島に比べ歴史が浅い晴海ですが、戦前は幻の万博の建設予定地であったり、戦後は東京モーターショーの会場であったりと、この 100 年ほどの短い間にも様々な変化がありました。現在東京 2020 大会選手村を経てマンション晴海フラッグが順次オープン。変わらずに流れる運河と東京湾に囲まれ、次の 100 年へと晴海は進みます。《か》

【参考文献】「中央区沿革図集 月島篇」中央区 HP 【町名由来】より (2024 年 11 月 14 日最終アクセス)

<https://www.city.chuo.lg.jp/a0043/kusei/gaiyou/choumei/tsukishima/tsukishima.html>



はるみクイズ

Q 図書館の本には、背にラベルが貼ってあります。晴海図書館の本は児童書・絵本と、一般書で背ラベルの色が違います。

児童書・絵本の背ラベル、一般書の背ラベルはそれぞれ何色でしょうか？

答えはこのページの右下です。《福》

スタッフの日常

晴海といえば.....思い浮かんだ作品が吉田修一さんの『パレード』です。描写通り華やかな地区ですよ。

同棲中の男が三年前に買ったという晴海の高層マンションに、現在彼女は住んでいる。(中略) 遊びにいったことのあるらしい未来からは、「うちのマンションとは月とスポン。向こうがエリザベス・テイラーなら、こっちはディバインよ」と、よく分からない説明を受けている。(吉田修一『パレード』, 幻冬舎, 2002 年)

晴海図書館の資料は質・量ともにこれから厚みを増していきます。お楽しみに。《P》

図書館エッセイ「あいつはなにをみてるのか」

開館から多くの利用者に同じ質問を受けることがある。「この白いマスコットキャラクターの名前は？」という質問だ。正解は「名前はない」である。ちなみにキャラクターではなくデザインである。

名前くらいあったほうがいいと開館前は内心思っていたが、今現在は、名前がないのも個性だしカッコよさも覚えてきた。

晴海区民センターには様々なところに「あいつ」がいるわけだが、そのなかでも気になっているのは、3 階会議室のネームプレートにいる「あいつ」だ。この会議室は、図書館でのイベントを開催するときなどに使用される。「あいつ」の目線から見ると、イベント開催時には参加者の顔を確実に認識できる。普段は児童エリアを広範囲で見ている。事務室で仕事をすることもある自分よりも「あいつ」の方が、多くの利用者を見ているのだろう。

これから、「あいつ」は多くのイベント参加者や児童エリアを利用する人たちを見ることになる。晴海図書館が目指すことのひとつに「子どもたちや Teens の未来を広げます」とあるが、「あいつ」は子どもたちの未来を、何年何十年と、見届けるだろう。ふと、仕事に足をとめて「あいつ」を見たとき、そんなことを思ってしまった。《葉》

館報名「みおさらい」について

みおさらえ【滯濫・水脈濫】『名詞』

港湾や川で、船の水路の深さを保つために水底の土砂をさらうこと。みおざらい。

(『日本国語大辞典 第二版』, 12 巻, 小学館, 2001 年, p.616)

晴海は、1892 (明治 25) 年から始まった東京湾滯濫 (みおさらい) 事業によって誕生した埋め立て地です。この歴史に因んで、図書館を使う人たちが世界についてより深く知り、獲得した知識を土台にして新たな世界を作っていく、そのお手伝いをしたく館報を「みおさらい」と名付けました。《ね》

晴海図書館
Harumi Library

〒104-0053
中央区晴海 4-8-1 晴海区民センター 3・4 階
03-5166-3131

マップはこちら

